



最後まで丁寧に植える



1年生に植え方を伝授



地域の人と共に



浅野和雄さん



上林小5・6年生

上林小学校では、毎年、上林資源環境保全会の皆さんから田植えを一から教えてもらう。5月のまだ肌寒い気温の中、5・6年生が準備を始めた。子どもたちの田植え歴は、保育所から通算して7年になる。6年生は、「上林の田植えを下級生に引き継いでいきたいです」と意気込み、田植えが始まった。田植えで行う儀式「サンバイオロシ」で稲の成長と豊作を願ったあと、素足で田んぼに入った。足が痛むほどの冷たさだが、地域の人に教えてもらいながら次々と苗を植える。

田植えの間には、アメンボ、おたまじゃくし、カブトエビ、ミズカマキリなどを見つけて喜ぶ子どもたちの目は輝いていた。5・6年生は下級生に田植えや田んぼの生き物について教える。5・6年生に教えてもらった1年生も「楽しかった」と笑顔を見せた。田植えを終えた6年生は「今年で小学校最後の田植えだったので一つひとつ力を込めて植えていきました。ありがとうございました」と感謝の気持ちを伝えた。

田植えの 伝承リレー

上林小学校

Kamibayashi Elementary School

最高の 米作りを

東谷小学校

Kigashidani Elementary School



全身泥だらけ

5月上旬の快晴の日、田植えが行われた。毎年地域の人と一緒に恒例行事となっていた田植え。しかし、昨年度はコロナウイルス感染症の影響を受け、もち米を植えられるのは1列のみだった。「今年は子どもたちが田んぼ一面に苗を植えられるので、楽しみ」。そう話すのは日浦地区に住む浅野和雄さん。「東谷で作るお米は、どこよりも美味しい。米を作って収穫して食べる1年間を味わってほしい」と田植え前の子どもに伝えた。

田植えの間には、アメンボ、おたまじゃくし、カブトエビ、ミズカマキリなどを見つけて喜ぶ子どもたちの目は輝いていた。5・6年生は下級生に田植えや田んぼの生き物について教える。5・6年生に教えてもらった1年生も「楽しかった」と笑顔を見せた。田植えを終えた6年生は「今年で小学校最後の田植えだったので一つひとつ力を込めて植えていきました。ありがとうございました」と感謝の気持ちを伝えた。



地域の人に教えてもらう



下級生と最後まで一緒に



田植えを頑張った証



一つずつ丁寧に植える